



ちょうせん
新たなモノに挑戦し続けた
ひさしげ
田中久重

「からくり儀右衛門」こと田中久重は、久留米の鼈甲細工
職人の長男として生まれ、25歳のときに家業を弟に譲り、か
らくり人形師の道を歩みます。からくり人形の最高傑作とさ
れる「弓曳童子」をはじめ、無尽燈、万年時計などからくりを
発展させた機械を製作し、晩年には日本初の蒸気船の開発
にもたずさわります。その卓越した技術力で、現在の東芝の
前身である電信機工場を開業しました。

単なるからくり人形師の範ちゅうに留まらず、豊富な技術
力と探求心で、日本の近代科学技術の発展に大きく貢献した
人物と言えるでしょう。

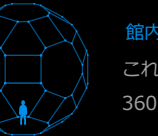


万年時計「国立科学博物館展示、東芝所有」

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.